

課 題		提言の項目（検討の方向性）		提言の内容	
1(1)	震災に特化した実戦的な訓練が不十分	2(1)	ア	実戦的な現場力の向上	<u>特別区消防団震災時活動マニュアル等を活用した実効性のある訓練計画の策定</u> <u>各種資機材を活用した実戦的訓練の推進</u>
			イ	訓練実施環境の改善や実施場所の検討	消防方面訓練場等の活用
			ウ	消防団員や消防団員を教育する立場にある消防職員への研修	団員に対する、統一的な指揮要領や活動要領を習得するための研修や指導する立場にある消防職員に対する研修の充実
1(2)	新型コロナウイルス感染症の影響により、ポンプ操法大会などの普段の訓練や資機材取扱い訓練などの新人教育訓練が困難	2(2)	ア	デジタル環境の有効活用	タブレット端末を <u>さらに有効活用した教育訓練の推進</u> <u>過去の災害画像等を取入れた理解しやすいアプリの導入に向けた検討</u>
			イ	新たな技術の導入	<u>仮想空間等のデジタル技術（AR*、VR*等）を活用した訓練施設の整備に向けた検討</u>
1(3)	消防団員数の不足に伴う活動力の低下	2(3)	ア	若い世代の団員確保	SNS等の活用、管内企業との連携の強化
			イ	募集広報の充実・強化	より伝わりやすいインターネット広告の更なる充実・強化
			ウ	女性や学生など対象に応じた募集広報の継続・強化	<u>若年層や子育て世代が参加する各種イベントにおいて対象に応じたリーフレットによる募集活動の継続・強化</u>
			エ	震災時等の活動力向上のための人員確保	大規模災害団員（大規模災害発生時のみ活動する団員）として、退団した団員や専門技能を持った方の入団促進
1(4)	消防団員の平均年齢の上昇に伴う各種活動面における負担軽減	2(4)	ア	新たな資機材整備等による負担軽減	電動アシスト付きホース延長台車やキャスター付きホースバッグ、電動搬送台車等の導入を検討
			イ	既存資機材の軽量化やコンパクト化	各既存資機材（非常用発電機等）の軽量化やコンパクト化を検討
			ウ	資機材の削減・統合による活動の効率化	削減・統合することにより、活動の効率化につながる資機材（救助資機材等）を検討

まとめ

*AR（Augmented Reality 拡張現実）

*VR（Virtual Reality 仮想現実）

大規模地震発生時における消火活動において、地域に密着した消防機関である消防団への期待は大きなものがある。消防団の消火活動能力の向上のためには、より実戦的な訓練を積み重ねて技術の習熟を目指すと同時に、最新のデジタル技術を活用した新たな教育訓練や平均年齢の上昇に対応した資機材の導入を検討していくことが求められる。